ふっさ 広報

七夕まつりキャラクター
「たっけー☆☆」

FUSSA

平成22年(2010年)
7月1日　No. 810

発行/福生市　編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511（市役所代表）
毎月1日・15日発行

ホームページ http://www.city.fussa.tokyo.jp/

今号の主な記事

4面後期高齢者医療保険料決定通知書を送付　6面国民健康保険税納税通知書を送付　7面健康診査のお知らせ
8面子ども手当の認定請求・現況届はお早めに　10面郷土資料室から　12面7月11日(日)は参議院議員選挙の投票日です

夢かなう市政を☆☆市制施行40周年を迎えて☆☆

今年は市の第4期総合計画が4月からスタート、7月1日に市制施行40周年、8月に七夕まつりが60回を迎えます。福生市にとっては節目の年です。この年に5人の市民の方に「夢かなう市政を」語っていただきました。

記念対談・市長と5人の皆さんが大いに語ります!

【対談者】写真・左から
太田泰之(30代男性)会社代表、福生青年会議所監事、福生市商工会青年部部長
内堀博美(20代女性)会社員、平成19年度の成人式実行委員
加藤福生市長
島田しのぶ(50代女性)国際ソロプチミストあきる野会長、あきる野市社会福祉協議会評議委員、人権擁護委員
坂本丁次(70代男性)ジャーナリスト、元東京新聞記者
内堀智美（20代女性)会社員、平成19年度の成人式実行委員
※敬称略　▷司会　福島企画財政部長

司会　今年は市の総合計画第4期のスタートの年でもあることから、市長には、これからのまちづくりや市政運営についての想いをお聞かせください。

市長　私は福生で生まれ育ちましたが、PTA活動をするうちに福生のために何かをしたいという想いで、議員を経た後、石川元市長、野澤前市長の想いを引き継ぐ形で、市長に就任させていただきました。

第4期総合計画の目指す都市像は「このまちが好き　夢かなうまち　福生」ですが、市民目線で語っている言葉です。今回の総合計画、特に基本構想は市民の皆さんによる市民会議提言を参考に策定されたもので、そこには市民と行政が一緒になって、福生として自立して発展していきたいという想いがあり、このような目標の言葉になったのではないかと思います。

そして、色々な発信がこの言葉の中に込められていて、私のマニフェストである「五つの元気」にも当てはまってくるものと理解しています。「五つの元気」は、まだ道半ばですが、市民の皆さんからご提案やご意見をいただき、市政に参加していただく中で、このまちを一緒に発展させ、皆さんが本当に住んでよかったと思えるまちにしたいと思っております。よろしくお願いします。

司会　今、市長からお話がありましたように、今回の総合計画には「福生らしさ」、「市民とともに」という2つのポイントがあります。まず皆さんが考える「福生らしさ」について、お話をいただければと思います。

福生らしさ

横田基地のあるまち

太田　地方に行くとどうしても福生の知名度は低いのですが、横田基地があるというと「知っている」と言われます。どうしても横田基地は切っても切り離せないと思います。

島田　「基地はあって当たり前だと思っているから、良いか悪いかという議論にはならないように思う。すでに自分たち、福生の文化に融け込んでいる。」という考えの若者が私の周りには多いですね。

内堀(智)　そうですね。あって当たり前の感じなので、確かに良いか悪いかといわれても・・七夕まつりで米軍の演奏に感動したり、小学校の演劇で基地の子どもたちと色々な話をしたりとか、楽しい思い出があるので、私にはプラスになっています。

坂本　福生が市になった当時、石川常太郎さんが初代市長で、その名刺には「横田基地所在地」と大きく書いてありました。市の職員の名刺も同様でした。国の補助金といった面もあったのでしょう。基地を売りものにするっていうのは悪いことではないと、私は思いますね。基地があることを利用して、プラスにした方が得ではないかと感じます。

太田　昭島などに仕事で長い時間いると、飛行機の離発着の音がうるさいですね。すごい騒音です。福生ではあまり感じないのですが。

坂本　戦闘機がないだけでも助かりますね。今はほかの基地に移りましたが、横田に戦闘機があるときは騒音が大変でした。

島田　瑞穂のエコパークにドッグランがあって、真上を飛行機が通り、手が届きそうだし、機体の金属音まで聞こえます。それが毎日となるときついだろうなって思う。でも世代によって感覚は違ってきていると思います。

市長　「福生らしさ」ということで横田基地の話題が出ましたが、基地には騒音、テロの問題、まちの発展の阻害などさまざまな問題がありますので、基地はないに越したことはないわけです。また、基地に対しては色々な意見があるのも事実です。しかし、国の防衛政策上、基地が福生にある以上、皆さんが言われたとおり、色々な面で活用しなくてはならないと思います。もちろん、これ以上の基地機能の増大は容認はできませんので、国に対しては、今後も市民の方や議会の声を届けるとともに、安全で安心なまちづくりを進めていきます。

コミュニティ、人が大切

島田　最近の子どもたちは、外で遊ぶことが少なくなっていると感じます。高校になるとほとんどが市外に通いますので、福生で遊ぶ時期も中学までで、その間に地べたを歩いて、空を見て福生を感じてほしいなと思う。その上で、福生を語って、想ってもらいたいと思います。

内堀(智)　私たちの子どものころは、田園児童館に毎日遊びに行っていました。

市長　内堀さん姉妹はどこの町会・自治会ですか。

内堀(博・智)　熊牛町会です。神輿会にも入っています。

内堀(智)　熊牛町会は参加率が高く、私たちの代がかなり参加しています。ほたる祭りでの福生三中の生徒の模擬店も私たちの代から始まって、今も引き継がれています。

市長　まちが元気になるとい

2面へ続く

1面から3面の対談要約

SPコードを掲載しています!

目の不自由な方の情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を、紙面に掲載しています。コードは専用の読取装置を使い、記録されている文字情報を音声で聞くことができます。

毎月1日号の奇数面の記事をそれぞれ抜粋してコード化し、触って位置がわかるように半円状の切り込みを入れています。

問合せ秘書広報課広報広聴係☎551・1568